

## 第 6 学 年 道 徳 学 習 指 導 案

指導者 6年 1 組 坂 本 哲 彦

### 1 単 元 名 心 の 声 で 伝 え よ う

資料名『心の声が届く』

### 2 単元 の 目 標

資料について話し合ったり、ゲストティーチャーと交流したりして、障害をもった人との接し方について自分なりの考えをもつことができるようにする。

だれに対しても思いやりの心をもち、差別することや偏見をもつことなく公正、公平にしようとする心情と態度を養う。

### 3 単 元 計 画 ( 2 時 間 )

#### 第 1 時

資料「心の声が届く」を読み、課題を話し合う。

自分なりの考えをまとめる。

主人公の気持ちについてグループで話し合う。

学習を振り返り、新たな課題を出し合う。

#### 第 2 時

白鷺会館の職員の方を迎え、耳の不自由な人の生活や気持ちについて話を聞いたり、質問をしたりするなどの交流会を開く。

思いやりのある行動や公平公正な態度について話し合う。

学習を振り返り、感想を書く。

### 4 本 時 の ね ら い

ゲストティーチャーとの交流会や全体での話し合いを通して、だれに対しても思いやりの心をもち、公正・公平に接しようとする心情と態度を養う。

### 5 本 時 の 活 動 計 画 ( 2 / 2 )

#### 第 1 活 動 ( 3 0 分 )

白鷺会館の職員の方を迎え、耳の不自由な人の生活や気持ちについて質問をしたり、話を聞いたりするなどの交流会を開く。

#### 第 2 活 動 ( 1 0 分 )

交流会の感想を述べ合ったり、資料の主人公の気持ちを想像したりして、思いやりのある行動や公平公正な態度について話し合う。

#### 第 3 活 動 ( 5 分 )

自分の学習を振り返り、感じたことやこれからの心のめあてをノートに書く。